

Apparently determined to exterminate the whole of the *Taikō's* house, Ieyasu placed a price on the head of Hideyori's little son Kunimatsu; and at the age of 8, this boy was subsequently butchered at Rokujo-gawara, Kyōto. **Having thus wiped out the last trace of the man to whose genius and generalship he owed his supreme position in the state, Ieyasu went the way of all flesh, his death taking place the following year (1616).**

【語注】 apparently どうやら～らしい be determined to do ～～しようと思心がかまっている exterminate ～を絶滅させる placed a price on ～～に値段を付ける head 首 at the age of ～～歳の時 subsequently その後 butcher ～を斬首する Having ～は分詞構文 thus このように wipe out ～～を消し去る trace 跡形、痕跡 genius 才能 generalship 指導力 supreme 最高の position 地位 state 国 go the way of all flesh 息を引き取る take place 起きる his death taking place は分詞構文 (his death は taking place の意味上の主語⇒§2)

【英語の視点】 to whose + B \_\_ owe + A

〔第1文〕 (Being) apparently determined to exterminate the whole of ～

文頭に Being の省略された分詞構文 (§22)。

〔第2文〕 ～ the man [to whose genius and generalship]  
he owed his supreme position in the state], B  
A

to whose ～ state は関係代名詞節である。owe A to B で「AはBのおかげだ」の意味 (§62)。whose は所有格なので先行詞 the man を whose に代入すると the man's となり、[ ] 内の to B の部分を本来の位置に戻すと次の通り。

He owed his supreme position in the state to the man's genius and generalship A B

「国内での最高の地位はその人の才能と指導力のおかげだ」

どうやら、太閤の血筋の者は全て根絶やしにしようと思決めたらしく、家康は秀頼の幼子の国松丸の首に懸賞金をかけた。案の定、8歳で国松丸は京都の六畳河原で斬首された。かくして、その人の才能と指導力のおかげで自分は国で最高の地位にまで就けたのに、その恩ある人物の血筋を消し去ってから、家康は息を引き取った。家康の死はその翌年(1616年)のことであった。

【歴史の視点】 250年の泰平を実現した男の最期

大坂方に無理難題を押し付けて、結局は豊臣氏を滅亡させたことが家康のマイナス評価につながっているような気がするが、山本七平氏の『徳川家康』(筑摩書房)は家康の人物像をどちらかと言えば好意的に捉えている。確かに、江戸時代には「東照神君」と称えられていたのが、明治時代に入って逆に家康を悪く言う風潮になった。家康に対する悪評はその名残なのかもしれない。

確かに、ひょうんきんで明るい秀吉のキャラクターに対して、家康は実直でユーモアセンスに欠けるイメージである。だが、成長経済が行き詰まりつつある現代こそ、安定成長を目指した家康の政策や人物像がいま一度見直されていていい時期に来ているのではないかと思う。

大坂の陣の後、二度と豊臣家が復活することがないように、秀頼の子の国松も処刑され、秀吉を祀っていた豊国廟も破却される。そして、家康は牢人たちを片っ端から処刑した。この残忍な行為は、治安維持のためと考えられる。いつの時代も、失業者が多い状態は政権にとって危険な状態だからである。続けて家康は武家諸法度・禁中並公家諸法度を発令し、幕藩体制を固めてゆく。

1616年、鯛のてんぷらを食べた体調を崩し、ついに75年の生涯を閉じる。くしくもその年は、西洋ではシェークスピアが亡くなった年でもあった。その後、約250年間、日本は平和な状態が続く。これは世界的に見ても歴史の快挙である。